

プログラミング開発の要件定義ガイド

 AIと一緒に楽しくプログラミング！

要件定義って何？

要件定義とは、「どんなプログラムを作るか」を詳しく決めることです。

例えば...

- 🏠 家を建てる前に設計図を描く
- ✈️ 旅行前に計画を立てる
- 🍳 料理前にレシピを決める

これと同じように、プログラムを作る前に「何を作るか」をはっきりさせる作業です。

なぜ大切なの？

要件定義なしの場合

あなた：「何か作ってみました！」

友達：「これじゃない...」

あなた：「え？でも頑張って作ったのに...」

友達：「最初から作り直して」

あなた：「」

なぜ大切なの？

要件定義ありの場合

あなた：「こういうのを作りますが、どうですか？」

友達：「はい、それで完璧です！」

あなた：「では作成します」

友達：「期待通りです！ありがとう！」

あなた：「」

決めるべき5つのこと

1. 何のため？（目的）

例： 「宿題を忘れないようにするためのTODOアプリ」





2. 誰が使う？（利用者）

例： 「中学生、高校生が主に使う」

決めるべき5つのこと

3. どんな機能？（機能）




例：

-  宿題を追加できる
-  完了したらチェックできる
-  締切日を設定できる
-  終わった宿題は消せる

決めるべき5つのこと

4. どんな見た目？（画面設計）

例：

-  スマートフォンで見やすい大きさ
-  シンプルで分かりやすいデザイン
-  青と白を基調とした色

5. いつまでに？（スケジュール）

例： 「2週間で基本機能を完成させる」

AIに頼むときのコツ

✖ 悪い例

「便利なアプリを作って」

✓ 良い例

「中学生向けの宿題管理アプリを作ってください。」

- 宿題のタイトル、締切日を登録できる
- リスト形式で表示
- チェックボックスで完了管理
- スマホで見やすいデザイン」

簡単チェックリスト

作り始める前に確認しよう！

- ☐ なぜ必要かが明確
- ☐ 誰が使うかが分かっている
- ☐ 必要な機能をリストアップした
- ☐ どんな見た目にするか決めた
- ☐ いつまでに作るか決めた

成功のポイント

1. 具体的に考える

- 「便利」ではなく「どう便利か」

2. 段階的に作る

- 最初は基本機能だけ
- 動いたら次の機能を追加

3. 使う人の立場で考える

- 自分じゃなくて使う人の気持ちになる

まとめ

要件定義は「設計図」です。良い設計図があれば、必ず良いプログラムが作れます！

覚えておこう：

-  何のため？
-  誰が使う？
-  どんな機能？
-  どんな見た目？
-  いつまでに？

この5つを決めてから作り始めよう！

ありがとうございました！

 作成日： 2025年6月28日

 対象者： 中学生

 AIと一緒に楽しくプログラミング！